

事業所名

放課後等デイサービス ウィズユー中津

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念		未来を生きる力を培う								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ◦発達に心配のあるお子さまとご家族が、地域の中で少しでもゆとりをもって生活をしていけるように支援します。 ◦お子様一人ひとりに適した活動・訓練を共に行い、やりたいことを実現するためのサポートができるように支援します。 ◦それぞれの月齢・年齢に応じて、自ら考え行動できるようになるために必要なスキルを身につけられるように支援します。 ◦楽しく、安心して過ごせる場所を提供するとともに、様々な経験を積むことで心身ともに成長を促せるよう支援します。 ◦関係機関との協働を大切にします。 								
営業時間		10時	0分	から	19時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容										
本人支援	健康・生活	子どもの障害特性・発達過程に配慮し、日々の細かな変化に留意しながら健康な心と身体を育て、安心・安全に生活が出来るように支援する。適生な生活リズムを身に付けられるように、健康の基本となる食に対する働きかけを行い基本的な生活習慣を形成できるように支援する。活動の中で、様々な遊びを通した学びが促されるように環境を整える。☑								
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善や習得できるようにバランスボール、トランポリン、公園などで思い切り体を動かすなどの粗大運動を取り入れ基本動作能力が獲得できるように支援する。 ハサミやノリ、ペンなどを使って、簡単な工作活動を通して微細運動を促す。 五感を十分に活用出来るように感覚遊び（スライム・粘土・水など）を通して、心地よい体験を積み重ねて感覚の偏りを改善できるように支援する。								
	認知・行動	場所への安心感を得やすいように、好きな遊び（療育）から取り組めるようなスケジュールと環境を調整する。 数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のためブロックなどの立体の造形物を使った創作活動を行う。またリズム遊びや音楽を使って五感を十分に活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を適切に習得できるように支援する。 感覚過敏やこだわり、コミュニケーションの困難から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う。								
	言語 コミュニケーション	言葉になりきらない思いを受け止め言語化し、自分の感情の表現の仕方や言葉を習得し、コミュニケーションに必要な基礎能力を身に付けられるように支援する。 お友達と一緒に協力して活動することでコミュニケーションをとる楽しさへの気付きが得られるように支援する。 絵本の読み聞かせを行い、自発的な発声、言語能力の向上を促す。								
	人間関係 社会性	安心感、信頼感を抱くことが出来るように静かで穏やかな時間と空間を作る。 さまざまな年齢のお友達との関わり、ふれあいを通して仲間づくりから小集団への参加ができるように支援する。 ルールのある遊びの中で、お友達と協力する体験ができるように場面設定を行い、お友達との関係を深められるように支援する。								
家族支援		家族からの相談や障害特性に配慮した家庭環境の整備に対する適切な助言等を行いながら、子どもや家族の信頼感を育み、良好で安定した関係を築けるように支援する。				移行支援		ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行を考慮しながら支援を行う。 保育所等と併用利用している場合は、密な連携を図る。		
地域支援・地域連携		子どもに関わる地域の関係者・関係機関とは、必要に応じて連携しながら支援を行う。				職員の質の向上		事業所の提供する支援の質の向上のため、事業所内研修の実施や外部研修の受講を行う。		
主な行事等		季節に合わせた行事（プール遊び、クリスマス会など） 興味関心を促す活動の提供（おやつ作り、季節に応じた工作、事業所外活動など）								